

独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター 身体的拘束等適正化のための指針

1 身体的拘束等の適正化に関する基本的な考え方

身体的拘束は、患者本人と他患者の生命及び身体を保護する為、緊急やむを得ない場合のみ実施します。人権侵害・QOL低下を招くものである為、身体的拘束を行う以外に代替する方法がないと思われる場合に限り実施します。その際には、その原因を見極め、その除去や代替策（治療・環境調整・ケア介入などの検討）を考慮して実施します。具体的には、以下の①～⑤について十分に理解して業務にあたります。

- ① 職員全員が普段から身体的拘束を無くしていくよう取り組みます。
- ② マンパワー不足や事故発生時の回避を理由に、安易に身体的拘束をしていないか常に考え、主治医を中心として定期的に評価・検討を繰り返します。
- ③ 患者のその時々々の心身状態を正確にアセスメントして、身体的拘束を必要としない状況を常に考えます。
- ④ 身体的拘束の実施は、緊急やむを得ない場合に限り、その状況について主治医を中心として判断し、他の方法についても常に考えます。
- ⑤ 身体的拘束の弊害について常に考えます。

※身体的弊害

- ・ 関節拘縮、筋力低下、神経障害などの身体機能低下や圧迫部位の皮膚トラブル等の外的弊害。
- ・ 食欲低下をはじめとする心肺機能や感染症等への抵抗力低下などの内的弊害。
- ・ いす等に身体拘束等をしているケースでの無理な立ち上がりによる骨折や転落転倒等。
- ・ ベッド等に身体拘束等をしているケースでの、抑制具による窒息等。

※精神的弊害

- ・ 不安、怒り、屈辱、諦めといった精神的苦痛を生じさせ、人間の尊厳を侵す。
- ・ もともとの精神症状の悪化を生じさせる恐れ。
- ・ 家族等が身体的拘束をしている姿を見た時、混乱や後悔して罪悪感にさいなまれる恐れ。
- ・ 医師・看護師等が、自らが行う支援に対して誇りが持てなくなり、仕事に対する意欲低下や士気の低下を生じさせる恐れ。

※社会的弊害

- ・ 病院自体に対する社会的な不信や偏見を生じさせる恐れ。
- ・ 身体的拘束による心身機能低下が、二次的な医療処置等を生じさせ経済的にも少なからず影響をもたらす恐れ。

2 身体的拘束等適正化のための体制

次の取り組みを継続的に実施し、身体的拘束適正化のため体制を維持・強化します。

(1) 定期カンファレンスと行動制限最小化委員会の開催

身体的拘束について、主治医の診療録の記載内容や看護録を基に評価するカンファレンスを行うとともに、行動制限最小化委員会にて身体的拘束の継続について検討をします。定期カンファレンスと行動制限最小化委員会は月に1回程度開催します。

(2) 行動制限最小化委員会の構成員

院長、副院長（委員長・司会）、リハビリテーションセンター長、医長、医師、薬剤科長、副診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、作業療法士長、主任心理療法士、医療社会福祉事業専門職、療育指導室長、看護部長、副看護部長、看護師長、医療安全管理係長、地域医療連携係長、経営企画室長、専門職（書記）

(3) 定期カンファレンスの構成員

主治医、当該病棟看護師等関係職種

3 身体的拘束等適正化のための研修

身体的拘束適正化のため職員について、採用時のほか、年1回以上の頻度で定期的な研修を実施します。研修の実施にあたっては、実施者、実施日、実施場所、研修名、内容（研修概要）、を記載した記録を作成します。

4 緊急やむを得ず身体的拘束を行わざるを得ない場合の対応

(1) 3要件の確認

- ・切迫性（患者の生命又は身体が危険にさらされる可能性が著しく高い状態にあること）
- ・非代替性（身体的拘束を行う以外に代替する方法がないこと）
- ・一時性（身体的拘束が一時的なものであること）

(2) 要件合致確認

患者さんの様子を踏まえ身体的拘束の必要性を判断した場合、限定した範囲で実施しますが、拘束の実施後も日々の様子をカンファレンスと行動制限最小化委員会で定期的に再検討し解除へ向けて取り組みます。

(3) 記録等

緊急やむを得ず身体的拘束を行わざるを得ない場合、次の項目について具体的に記録します。

- ・病状と身体的拘束が必要となる理由
- ・身体的拘束の内容（部位）
- ・身体的拘束の開始時間

5 身体的拘束等に関する報告

緊急やむを得ない理由から身体的拘束を実施している場合には、身体的拘束の実施状況や患者さんの日々の様子を記録し、定期カンファレンスと行動制限最小化委員会で拘束解除に向けた確認を行います。

6 本指針の閲覧

本指針は、患者さんやご家族、関係者等が閲覧をできるように、病院内の掲示板やホームページへ掲載します。

（附則）

この指針は2025年4月1日より施行する。